

対策優先箇所に対する今後の対応

平成 18 年 3 月 28 日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 土木部

【対策優先箇所選定のPDCA】

【Plan】



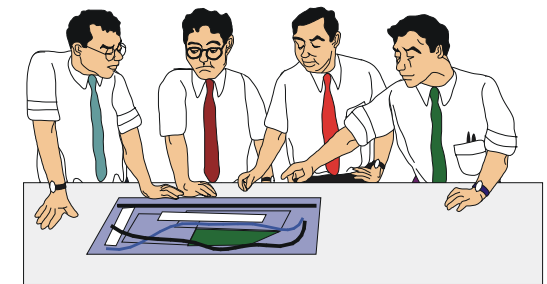
■アウトカム指標の設定
道路交通円滑化・安全に利用できる道路の確保

■課題抽出・要対策箇所選定
データに基づいた課題抽出・要対策箇所の選定
パブリックコメント等による県民実感の確認及び要対策箇所収集

本委員会（山梨県道路交通円滑化・安全委員会）

【Action】

評価結果の反映
効果評価結果の検証
効果評価結果の公表
好事例の他事業への反映



交通円滑化
・
安全

【Do】



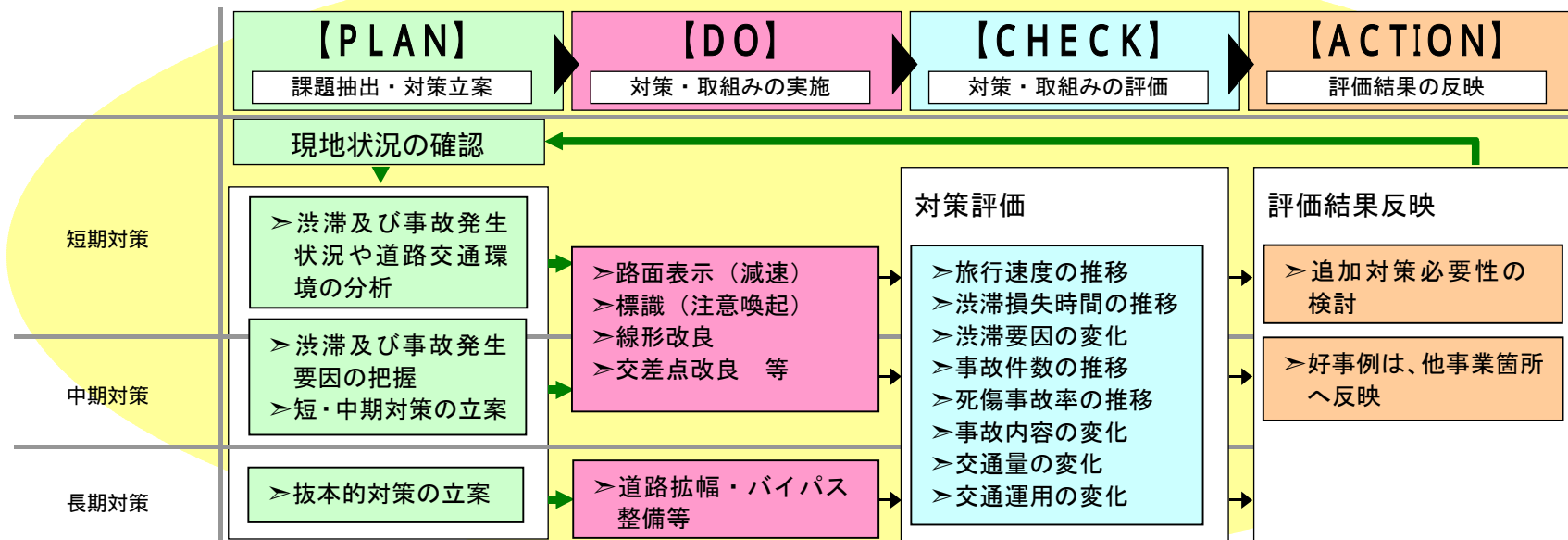
対策検討・対策実施
選定箇所における、短期対策から長期（抜本的）対策までの個々の箇所におけるPDCA

【Check】

取り組みの評価
対策実施後の渋滞及び事故データ収集
道路交通環境の変化の把握
地域住民の意見収集



【対策優先箇所におけるPDCA】



交通事故対策優先箇所 対策実施例

対策優先候補箇所の対策実施例

地域名	箇所番号	箇所名	路線名	対策実施例
甲府	2	甲府市 向町2交差点	国道20号	右折レーン延伸
富士北麓	37	山中湖村山中	国道138号	標識・路面標示(追突注意)
	38	山中湖村山中	国道138号	標識・路面標示(追突注意)
	39	鳴沢村7619	国道139号	標識・路面標示(追突注意)
	40	富士河口湖町 船津登山道入口交差点	国道139号	右折レーン延伸・右折導流線実施
東部	44	大月市 大月市立病院交差点	国道20号	路面標示(追突注意)
	45	大月市 大月インター入口交差点	国道20号	中央帯拡幅・右折車両待機エリア

箇所番号 40
船津登山道入口 対策・効果

箇所番号 45
大月IC入口 対策

139号の拡幅(4車線化)に併せて整備完了

しかし

○事故の多発
最近のデータでは、死亡魚算件数 山梨県内ワースト5
※死亡魚算件数、死亡(重大)事故発生頻度を示す指標

原因は

○事故発生状況
139号・国道沿道ともに右折車両が多く、右折待ち時間が長くなり、無理な右折車と直進車の衝突が発生

右折導流線設置

山梨県平均 船津登山道入口交差点
県平均 13倍 34
山梨県平均 0.02
船津登山道入口交差点 0.26
出典: 交通安全統計(平成12~15年)

効果、費用等検討

○対策
139号の右折レーンの延伸・右折導流線設置【平成15年度実施】

★対策後(1116)右折時事故発生状況

対策前(H12~H15) 2
対策後(H16) 0

○モニタリング
引き続き
対策後の交通状況をフォローアップ

大月ICへの接続に併せて整備完了

しかし

○事故の多発
最近のデータでは、死傷事故率比 山梨県直轄国道ワースト1
高齢者事故率 山梨県内ワースト1

原因は

○事故発生状況
沿道の店舗進出により、出入り車両が増加し、追突事故や右折車と直進車の衝突が発生

写真方向

山梨県平均 大月IC入口交差点
県平均 11倍 721
山梨県平均 61
大月IC入口交差点 688
出典: 交通安全統計(平成12~15年)

効果、費用等検討

○対策
路肩を活用して、中央帯を広げ、沿道出入り車両の待機スペースを確保【平成17年度実施】

引き続き

○モニタリング
対策後の交通状況をフォローアップ